



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月14日
東・名

上場会社名 ICDAホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 3184 URL <https://www.icda.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)向井 弘光
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)服部 宝 (TEL) 059-381-5540
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	22,804	11.5	1,246	7.9	1,271	8.7	811	8.5
2022年3月期第3四半期	20,448	7.0	1,154	8.3	1,169	9.9	747	7.1

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 842百万円(6.4%) 2022年3月期第3四半期 792百万円(9.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	386.52	—
2022年3月期第3四半期	356.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	15,662	8,441	52.1
2022年3月期	15,253	7,709	48.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 8,161百万円 2022年3月期 7,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	28,100	△1.2	1,173	△23.9	1,180	△24.4	777	△20.4	370.15	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	2,100,000株	2022年3月期	2,100,000株
2023年3月期3Q	207株	2022年3月期	207株
2023年3月期3Q	2,099,793株	2022年3月期3Q	2,099,793株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要エリアである三重県下において、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数増加による経済活動停滞の影響は少なく、経済情勢は持ち直したものの、急激な円安による物価上昇や原材料費の高騰等の影響による製造業を中心とした経済活動の鈍化が懸念されております。

当社グループにおいては、従来より実施している既存顧客に対するフォローアップ活動の更なる強化を図ることにより、既存顧客からの受注は堅調に推移しております。また、在庫車両の販売が進んだことにより販売台数は増加いたしました。さらに、点検車検等の入庫においても既存顧客に対するフォローアップ活動の結果、堅調に推移いたしました。しかしながら、世界規模の半導体不足等による、商品(車両及び部品等)の供給遅れ又は出荷停止等による販売台数の鈍化等、業績に与える影響が懸念されております。

これらの結果、売上高は228億4百万円と前年同期と比べ23億55百万円(11.5%)の増収、営業利益は12億46百万円と前年同期と比べ91百万円(7.9%)の増益、経常利益は12億71百万円と前年同期と比べ1億1百万円(8.7%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億11百万円と前年同期と比べ63百万円(8.5%)の増益となりました。

① 売上高及び営業利益

売上高は228億4百万円と前年同期と比べ23億55百万円(11.5%)の増収、営業利益は12億46百万円と前年同期と比べ91百万円(7.9%)の増益となりました。セグメント毎の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

(自動車販売関連事業)

当セグメントにおきましては、国産新車販売は、中国上海のロックダウンによる生産停止のほか、半導体不足等による製造ライン稼働率低下の影響を受け商品入庫が安定しない状況が発生いたしました。在庫車両の販売に注力したこと、商品入庫減を見越した商品仕入が功を奏したことにより、国産新車販売台数は前年同期と比べ11.6%増の3,915台となりました。輸入車においては、ロシアのウクライナ侵攻による、近隣国等サプライチェーンの稼働停止の影響により、商品入庫の回復見込みが不透明な状況が続いており、輸入車販売台数は前年同期と比べ6.4%減の336台となりました。これらの結果、新車販売台数は前年同期比9.9%増の4,251台となりました。

中古車販売については、既存顧客からの受注が堅調に推移しておりますが、新車商品の供給遅れ等が長期化する見込みのため新車販売店舗においても中古車販売を強化いたしました。しかし、中古車オークション相場の価格については当第3四半期連結会計期間において一部を除き相場が下落傾向となり、卸売(業販)が鈍化したことで、中古車販売台数は前年同期と比べ0.2%増の7,071台に留まりました。

これらの結果、売上高は217億70百万円と前年同期と比べ21億30百万円(10.8%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は12億64百万円と前年同期と比べ1億47百万円(13.2%)の増益となりました。

(自動車リサイクル事業)

当セグメントにおきましては、生産台数(再資源化处理)は前年同期と比べ2.5%増の6,663台となり、使用済自動車の入庫は、前年同期と比べ10.1%増の6,421台となりました。売上高は、鉄及びアルミ並びに希少希土類(レアアース・レアメタル)等の資源相場が高値で推移した結果、資源関連売上は増加しておりますが、当第3四半期連結会計期間においては、資源相場が下落傾向となっております。また、輸出関連売上については増加傾向となっております。しかし、売上原価は、全国的な新車販売台数減少の影響等による中古車オークション相場の価格高騰により、大幅に増加いたしました。

これらの結果、売上高は10億34百万円と前年同期と比べ2億25百万円(27.8%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1億51百万円と前年同期と比べ62百万円(29.2%)の減益となりました。

② 経常利益

営業外損益については、営業外収益での受取保険金の増加により営業外損益は増加いたしました。さらに営業利益が増加したことにより、経常利益は12億71百万円と前年同期と比べ1億1百万円(8.7%)の増益となりました。

③ 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益については、伊勢地区新店舗建設による既存設備の解体費用の計上がありましたが、経常利益の増加により税金等調整前四半期純利益は12億62百万円と前年同期と比べて92百万円(7.9%)の増益となり、法人税等(法人税等調整額を含む)は4億21百万円となりました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は8億11百万円と前年同期と比べ63百万円(8.5%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より4億8百万円増加し、156億62百万円となりました。これは主に、土地の増加2億60百万円、商品及び製品の増加2億円、建物及び構築物の減少1億2百万円等によるものであります。なお、土地取得については、自動車販売関連事業における既存の賃貸借契約物件の購入及び、自動車リサイクル事業における新規投資に伴う購入となります。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より3億23百万円減少し、72億20百万円となりました。これは主に、借入金の減少2億21百万円、未払法人税等の減少1億96百万円、前受金の減少75百万円等によるものであります。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より7億32百万円増加し、84億41百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上8億11百万円、配当金の支払1億4百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通り推移していることから、2022年5月13日公表の連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	776,208	761,214
受取手形及び売掛金	421,373	446,037
商品及び製品	3,408,120	3,608,439
仕掛品	4,514	7,710
原材料及び貯蔵品	72,203	58,960
その他	234,650	227,747
貸倒引当金	△156	△178
流動資産合計	4,916,915	5,109,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,459,094	2,356,545
土地	5,535,455	5,796,139
その他（純額）	1,224,124	1,363,223
有形固定資産合計	9,218,674	9,515,908
無形固定資産	44,069	38,482
投資その他の資産	1,074,197	997,879
固定資産合計	10,336,941	10,552,270
資産合計	15,253,856	15,662,201

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,702,330	1,762,361
短期借入金	2,105,980	1,999,615
未払法人税等	323,130	126,769
前受金	1,482,295	1,406,912
賞与引当金	156,925	82,500
その他	435,595	596,703
流動負債合計	6,206,258	5,974,861
固定負債		
長期借入金	195,120	80,000
役員退職慰労引当金	311,973	320,803
退職給付に係る負債	758,092	777,923
その他	72,979	66,908
固定負債合計	1,338,165	1,245,635
負債合計	7,544,423	7,220,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,078	1,161,078
資本剰余金	1,148,992	1,148,992
利益剰余金	5,103,921	5,810,553
自己株式	△378	△378
株主資本合計	7,413,613	8,120,245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,988	17,290
退職給付に係る調整累計額	25,034	24,273
その他の包括利益累計額合計	39,022	41,563
非支配株主持分	256,796	279,895
純資産合計	7,709,432	8,441,704
負債純資産合計	15,253,856	15,662,201

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	20,448,637	22,804,194
売上原価	16,214,058	18,267,762
売上総利益	4,234,578	4,536,432
販売費及び一般管理費	3,080,002	3,290,283
営業利益	1,154,575	1,246,148
営業外収益		
受取配当金	8,635	9,913
受取賃貸料	8,570	8,760
受取保険金	15,186	23,724
その他	7,250	5,322
営業外収益合計	39,643	47,720
営業外費用		
支払利息	13,730	9,891
支払手数料	8,225	7,244
その他	2,597	5,224
営業外費用合計	24,553	22,360
経常利益	1,169,665	1,271,508
特別損失		
固定資産除却損	—	9,330
特別損失合計	—	9,330
税金等調整前四半期純利益	1,169,665	1,262,178
法人税、住民税及び事業税	334,754	383,636
法人税等調整額	45,820	38,359
法人税等合計	380,575	421,995
四半期純利益	789,089	840,182
非支配株主に帰属する四半期純利益	41,144	28,560
親会社株主に帰属する四半期純利益	747,945	811,622

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	789,089	840,182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,269	3,301
退職給付に係る調整額	1,033	△532
その他の包括利益合計	3,303	2,769
四半期包括利益	792,393	842,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	751,057	814,162
非支配株主に係る四半期包括利益	41,336	28,788

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,639,560	809,077	20,448,637	—	20,448,637
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,985	16,675	22,661	△22,661	—
計	19,645,545	825,752	20,471,298	△22,661	20,448,637
セグメント利益	1,117,447	214,425	1,331,873	△177,297	1,154,575

(注) 1. セグメント利益の調整額△177,297千円には、セグメント間取引消去558千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△177,855千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,770,114	1,034,079	22,804,194	—	22,804,194
セグメント間の内部 売上高又は振替高	65,921	31,082	97,004	△97,004	—
計	21,836,036	1,065,162	22,901,198	△97,004	22,804,194
セグメント利益	1,264,987	151,859	1,416,846	△170,698	1,246,148

(注) 1. セグメント利益の調整額△170,698千円には、セグメント間取引消去△9,392千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△161,306千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。